



いつまでも 住みたい・住み続けたいまちに

兵庫県三田市 高平郷づくり協議会





兵庫県三田市北東部にある高平地区は、南北に開けた穏やかな山間に羽束川が流れ、高平小学校区の14地区を範囲に、人口約2700人、高齢化率は4割を超える地域となっている。この高平地区を「住みたい・住み続けたい地域」にしたいと、平成27年に住民有志によって設立されたのが、高平郷づくり協議会（会長・岡田秀紀さん）だ。

その活動の拠点となる、コミュニティカフェ「さとカフェ」を訪れる。同協議会の「さとカフェ部会」のスタッフを中心とする地域住民が運営し、本格的なドリップコーヒーをはじめ、地域で評判のパティシエが日替わりで焼いたケーキ、レストランシェフが作るカレーなど、こだわりのメニューが破格の値段で提供される。お客さんの声から生まれたウインナーコーヒーや、高平産の干柿と柚子を使った「高平コーラ」などユニークな人気メニューも多い。

さとカフェは、もともと集会所だった建物を、地域の人々で壁を塗り、照明を工夫し、スロープを付けたウッドデッキを設けるなど、手作りのお店だ。店内のテーブルや椅子や食器の多くは、地域の家庭や閉店した喫茶店から譲り受けたものが使われている。

「かつて婦人会で使われていたコーヒーカップで出したところ、婦人会OBのお客さんから『それ、私が昔買ったカップだわ』と声をかけられ、ここは『地域のみんなの店』であることを実感した」と語るのは、さとカフェの立ち上げから10年にわたり部長として担ってきた服部あかねさん。西宮市から移住しPTA活動を通じて地域と関わりを深め、同協議会の環境美化部会長を引き受ける。地域の居場所が課題になっていたことから、自分の得意分野を活かして新たに「さとカフェ部会」を立ち上げ、カフェを始めることとなった。

「楽しそうに活動していると人が集まってくる。出てきたアイデアは何でも受け止め、まずやってみることを大切に」



ている」と語る。高齢者に人気の歌声喫茶や百歳体操、子ども向けのお菓子教室、主婦シェフ、寺子屋、ライブ演奏などの多彩な取り組みはそんな積み重ねから育ってきた。「ここに携わる人が輝き出すのを見るのが嬉しい」と服部さん。

その思いを引き継ぎ、昨年からカフェ部会長を務めるのが吉川由佳さん。尼崎市から高平に移住し、当初は子育てや人間関係への不安もあったそうだが、地域の人に支えられ、親戚が増えていくような感覚で暮らせるようになったという。料理が好きな吉川さんは、「主婦シェフ」をきっかけにさとカフェの運営に携わるようになり、新しい風を吹き込んでいく。

高平郷づくり協議会は現在、ふるさと再生、地域産業、健康福祉、生活安全、交流・生涯学習、さとカフェ、高齢者支援の7部会と広報委員会で構成されている。顧問の入江さんは、「何かをやりたい人が自由に参加できる場をつくりたかった」と振り返る。発足当初にワークショップを開き、住民同士で高平の強みや弱み、将来への不安を出し合った。高齢者の居場所づくりといった課題と同時に、高平の地域資源の魅力も再確認され、その後の活動の基盤になっていった。

会長の岡田さんは、人口減少と空き家の増加という高平の現状を見ながら「高平を好きになってくれる人をどう増やすか」を考えている。まず高平に足を運んでもらうきっかけが必要と、農村体験などを通じて関係人口を増やし定住へとつながってきた結果、10年間で約30人が移住している。「最初から住まなくても、まず高平に来てもらい、住民と一緒に作業して、話をしてお互いが人として好きになれば地域も好きになってくれる」と岡田さんは語り、移住者が地域に波紋を起し、人を呼び込む循環が生まれていけばと願う。

夕方になると、さとカフェは地域食堂「高平ダイニング」の場になる。吉川さんのアイデアをきっかけに昨年からはじ



受け継がれていくことと思う。

「子育て世代も参加しやすい形で、夕ご飯を食べた後に地域の話ができれば」と考えた吉川さんのアイデアだ。子どもから高齢者までが輪になり「高平の好きなどころ」「地域がよくなるアイデア」などを語り合う。子どもたちからは「自然が多いのが良い」「近所の人ややさしい」といった声や、「買い物が不便」「地区に友だちが少ない」といった声もあった。仕事を終えた親御さんも途中から参加し、高平を思うお互いの気持ちを共有していく。

「この日は高平ダイニングと「井戸端会議」を同時に開催する初めての試みとなった。井戸端会議とは、協議会発足と同時期に高平住民は元より誰でも気軽にさとカフェに足を運んで、お茶とお菓子で月1回夜の2時間をワイワイガヤガヤと過ごす大人時間。」

「子育て世代も参加しやすい形で、夕ご飯を食べた後に地域の話ができれば」と考えた吉川さんのアイデアだ。子どもから高齢者までが輪になり「高平の好きなどころ」「地域がよくなるアイデア」などを語り合う。子どもたちからは「自然が多いのが良い」「近所の人ややさしい」といった声や、「買い物が不便」「地区に友だちが少ない」といった声もあった。仕事を終えた親御さんも途中から参加し、高平を思うお互いの気持ちを共有していく。

【連絡先】高平郷づくり協議会(さとカフェ)

TEL : 079-569-0131

メール : takahirasatozukuri@gmail.com

(さとカフェ営業 : 月水金日10時~15時)

ホームページをご覧ください

